第1号議案

スイッチング支援システムの開発に係る契約変更について

(案)

スイッチング支援システムの設計において、別紙1のとおりシステム仕様の一部変 更が発生したことから、株式会社エヌ・ティ・ティ・データとの間で締結したシステム 開発委託契約について別紙2のとおり契約変更書を締結したい。

以上

【添付資料】

別紙1:スイッチング支援システム開発に関する契約変更について

別紙2:変更契約書(案)

スイッチング支援システム開発に関する 契約変更について

平成27年4月28日 電力広域的運営推進機関

1.契約変更内容

<システム仕様の追加>

申込受付状態確認API*の申 込種別単位での分割対応 (3API->17API)

※APIとは

Application Program Interface (アプリケーション プロゲラムインタフェース) の略で、外部/内部システムのプログラムから共通的に呼び出しが可能なプログラム群のことを指す。

呼び出し側は引数を付与してAPIを呼び出し、API側はその引数を使用して処理を行い、その処理結果などを呼び出し側に返却する。

▶ 申込受付状態確認APIとは、再点、スイッチング開始/廃止など、送 配電システム側に申込中のリクエストに関する状況確認を行うAPIで ある。

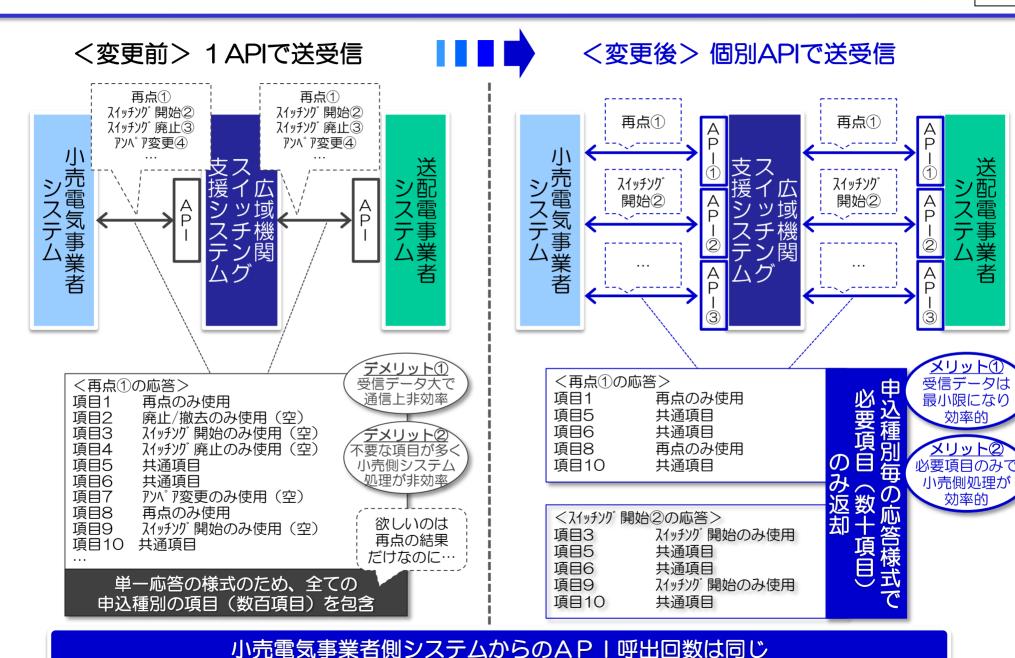
設計当初、低圧、高圧(500kW未満)、低圧FIT電源でそれぞれ1APIずつ、計3APIで実装する予定であった。

基本設計を進めるうち、以下の課題が発生したため、一般送配電事業者側との協議の結果、申込種別毎にAPIを分割することが最良であると判断し、スイッチング支援システム側にて変更対応することで合意した。

(低圧、高圧、低圧FITで**14APIの増加**)

【課題】

- すべての申込種別の項目を1フォーマットで返却する従来の想定の場合、各申込種別毎に不要な返却項目が大量に発生し、受信電文長も非常に長いものとなり通信上非効率である。
- 上記を見越し、送配電事業者側は申込種別毎のフォーマットで返却する方向に変更の方針としたため、それを受信するスイッチング支援側でも追従する必要がある。
- ※課題に関するイメージは次ページで説明する。



■申込受付状態確認API一覧(仕様変更後)

業務区分	No.	API名	
低圧	1	低圧申込受付状態確認API	(低圧使用量閲覧パスワード発行申込)
	2	低圧申込受付状態確認API	(低圧再点申込)
	3	低圧申込受付状態確認API	(低圧廃止(撤去)申込)
	4	低圧申込受付状態確認API	(低圧スイッチング開始申込)
	5	低圧申込受付状態確認API	(低圧スイッチング廃止申込)
	6	低圧申込受付状態確認API	(低圧需要場所情報変更申込)
	7	低圧申込受付状態確認API	(低圧アンペア変更申込)
高圧 (500Kw 未満)	1	高圧申込受付状態確認API	(高圧使用量閲覧パスワード発行申込)
	2	高圧申込受付状態確認API	(高圧廃止申込)
	3	高圧申込受付状態確認API	(高圧スイッチング開始申込)
	4	高圧申込受付状態確認API	(高圧スイッチング廃止申込)
	5	高圧申込受付状態確認API	(高圧需要場所情報変更申込)
低圧 FIT 電源	1	受電申込受付状態確認API	(受電再点申込)
	2	受電申込受付状態確認API	(受電廃止申込)
	3	受電申込受付状態確認API	(受電スイッチング開始申込)
	4	受電申込受付状態確認API	(受電スイッチング廃止申込)
	5	受電申込受付状態確認API	(発電者情報変更申込)

当初想定3APIに対し、仕様変更後は上記17APIとなり、14API増加

開発スケジュール(予定)今回の仕様変更を含めた開発スケジュールは以下のとおり。

